

## 妊婦歯科健康診査受診票の記入の注意点（2枚複写用）

### ◆健康診査の所見（歯式の部分）の記入方法

- 0 健全歯（CO、シーラントを含む。乳歯が先欠歯の代替歯の場合は永久歯の番号を横線で消し、乳歯の記号を書く）
- 1 処置歯（FMC、Br、インレー、アンレー、CR、アマルガムの区別はいりません。ヘミセクションで1根でも残っている場合を含む）
- 2 未処置歯（C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>の区別はいりません。Tek、コア、治療中、2次カリエスを含む）
- 3 欠損処置歯（義歯、ダミー、インプラント等）
- 4 欠損未処置歯（欠損補綴していないもの。最後臼歯部の要補綴を含む）
- 5 先欠歯等（スペースなしの欠損、便宜抜去等）

例)

•  $\overline{567}$  Bridge の場合

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   | ↓ | ↓ | ↓ |   |
|   |   |   |   | 1 | 3 | 1 |   |

歯数のカウントは

- 処置歯 2(本)
- 欠損処置歯 1(本)

• 先天性欠損や矯正治療等で抜歯してある場合（ $\overline{4}$  の場合）

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   |   |   | ↓ |   |   |   |
|   |   |   |   | 5 |   |   |   |

歯数のカウントは

- 先欠等 1(本)

•  $\overline{4567}$  義歯の場合

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |
|   |   |   | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |   |
|   |   |   | 3 | 3 | 3 | 3 |   |

歯数のカウントは

- 欠損処置歯 4(本)

•  $\frac{8}{8} \mid \frac{8}{8}$  は視診で歯牙が見えない場合（未萌出、抜歯後に拘わらない）  
記入の必要なし（5ではなく空欄のまま）

### ◆CPIについて

CPIは集団の歯周疾患の罹患状態の評価を簡便に調査でき、再現性が高いというメリットがあるため、歯周疾患の地域保健対策に適しています。熊本県歯科医師会でもデータ集計を行い、地域歯科保健に役立てておりますので、正確な検査をお願い致します。

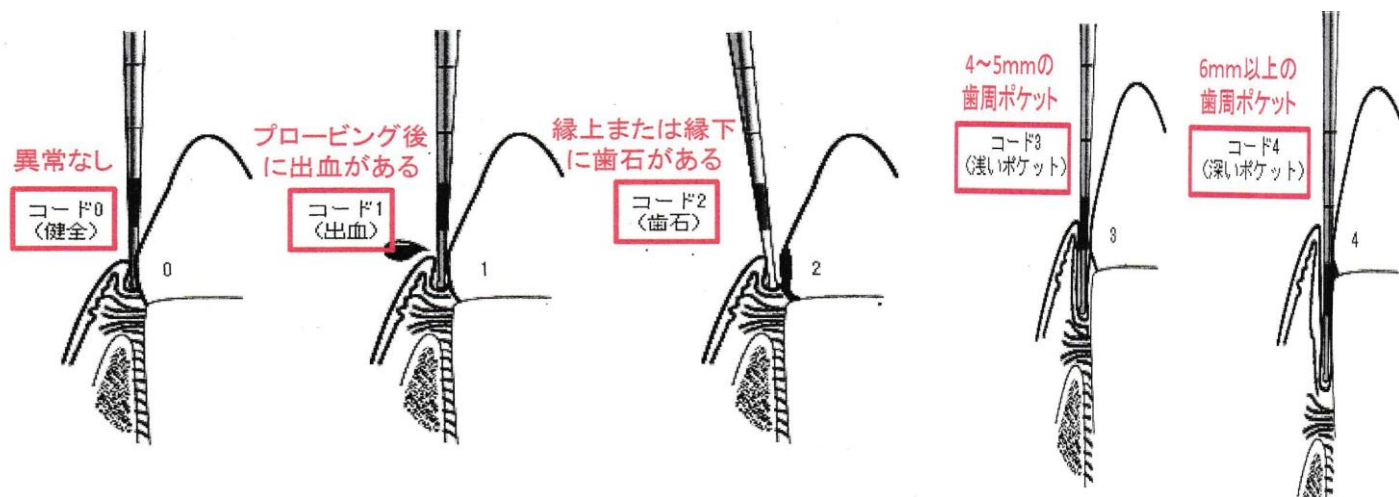
検査には、WHOプローブの使用が望ましいですが、ない場合はペリオプローブを使用して下さい。

| 対象歯   |     |     |       |
|-------|-----|-----|-------|
| (7) 6 | 1   | (1) | 6 (7) |
| (7) 6 | (1) | 1   | 6 (7) |

前歯部の対象歯が欠損している場合は、反対側の1番が審査対象。臼歯部は6番又は7番が審査対象。  
対象歯が全て欠損している場合は空欄のまま。

- 0：異常なし（歯肉に炎症の所見が認められない）  
 1：歯肉出血（プローピング後に出血が認められる）  
 2：縁上または縁下歯石  
 3：4mm以上6mm未満（黒いコードにかかる）ポケット形成  
 4：6mm以上の（黒いコードが埋まる）ポケット形成

CPIの各コード（0～4）



#### ◆健診結果の判定

- 異常なし：未処置歯、要補綴歯、その他所見が認められず CPI コードが0の者  
 ＊処置、改善を必要としないもの。
- 要指導：未処置歯、要補綴歯、その他所見が認められず CPI コードが1の者  
 ＊個人の口腔衛生の改善を必要とするもの（C O含む）
- 要治療：未処置歯あり、要補綴歯あり、CPI コードが2、3、4の者  
 ＊歯科治療を必要とするもの。

#### ◆その他

1，記入漏れに注意して下さい。

- ・受診券交付番号
- ・氏名、生年月日
- ・歯式の部分
- ・健診日
- ・健診した歯科医の⑩

2，ボールペンなどで記入し、修正をする場合は修正液で修正し、その上から正しい数値を記入して下さい。（二重線による見せ消し、訂正印、修正テープ不可）